



1 学生を温かくサポート!



5月14日(火)、二年生を対象とした「進路・求職意向ヒヤリング」がスタートしました。

約二週間に渡り昼休みと放課後の時間帯に、二人のアドバイザーが、学生の進路の取組状況を確認しアドバイスしています。担当の成松伸行アドバイザーは「希望状況を具体的に把握し早めの指導をしたい」、西野和幸アドバイザーは「学生の皆さんは、時期的なものもあり、しっかり考え情報収集していると感じた」などと話されていました。ヒヤリングを終えた鬼沢昇吾(水戸南高卒)さんは「志望する企業についての的確な助言を頂き参考になりました」、小針向葵(日立商高卒)さんは「迷うところもありましたが、方向性を見出すことが出来ました」と嬉しそうに話していました。



昼休みのヒヤリング風景

2 活かせ学生のアイデア!



5月23日(木)の「地域経済論」は、小美玉市にある「Golf & Sports academia RISEe」代表取締役の小暮真一氏と市村尚輝氏が来校され、学生からの課題解決発表に聞き入っていました。「RISEe」は室内ゴルフ練習場や、PCやVRを使ってeSportsが体験できるアカデミアです。学生へのテーマは「アカデミアへの来場者をどのように増やしたらいいか」です。



小暮真一氏

市村尚輝氏

学生からは、「顧客をシニア層に絞り、コミュニケーションの場として広める」「社長のスコアを超えるチャレンジや、SNSを効果的に活用する」などの発表がありました。小暮さんは「学生目線のアイデアを活かしたい」と話されていました。

3 進む校内美化!

下大野の田園地域に立つIT短大では、指導教員も環境整備に努めています。



4 『記事トレ』紹介



本校では、IT専門力に加え社会人基礎力の向上のため『記事トレ』を実施しています。新聞を読み、要約とIT技術者としての感想を書くトレーニングを通して読み解く力を育成します。

＜記事＞ 茨城新聞(2024年5月8日)
「人材確保・育成に力」①
県産業戦略部長 大竹真貴さん

●野村未結さん(水戸二高卒)

◇要約: 加速化する人手不足の中、本県産業を支える人材の確保と育成に注力する。ベンチャーフレンドリーを宣言し、県内のベンチャーを官民一体で支援していく。ものづくり企業に対し、スピード感を持って強気に後押しする。

◇感想: 加速化する人手不足により労働力不足が増えている。本県は高い技術力を持っているので、ものづくり企業に対し強気に後押ししていることを知った。本校も質と量の両方で、デジタル人材の育成を強化している。私も頑張りたいと思った。

●増山直樹さん(明秀日立高卒)

◇要約: 茨城県は県内の労働力不足や、中小企業等の成長と新産業育成、ものづくり企業の海外展開といった課題を解決するために支援している。

例えば、IT短大を大学校化し、デジタル人材の育成強化により、地元企業のニーズに応える取り組みが挙げられる。

◇感想: IT短大は茨城県から、大いに期待されていると感じた。私はIT短大で精一杯勉強し、デジタルを使いこなす立派な技術者になることで地元貢献したい。

また、IT短大の大学校化によってできる応用課程に進学し、学びを深めたい。

●土肥綺音さん(中央高卒)

◇要約: 労働力不足が顕在化する中、本県産業を支える人材の確保・育成に注力している。外国人材の確保のためインドの教育機関と連携し、日本語講座などを行い、ものづくり企業の海外展開に向け、稼ぐ力の強化につなげている。

◇感想: 茨城県はインドの教育機関と連携し、日本語講座を行い県内企業への就職支援を行っている。また、IT短大を大学校化し、デジタル人材の育成にも力を入れている。



自分自身も社会に貢献できるIT人材となれるよう努力していきたい。

